

第4回 鹿骨小学校・松本小学校 統合に向けた合同会議 議事録（要旨）

【日 時】

令和5年9月6日（水）18時30分～20時35分

【場 所】

鹿骨小学校 会議室

【説明内容】

1 校名案選定の集計結果について

- ・公募により集まった校名案268件・129案の中から、選定いただいた投票を集計したところ24案となった。この中から絞り込みをして、教育委員会に提出する最終候補案を選定したい。

2 合同会議委員の校名案の選定理由一覧

- ・合同会議委員が選定した理由について共有。

3 校名選定等のスケジュールについて

- ・校名案の選定後、学校主体で新しい校章・校歌・学用品などについて具体的な検討を行う予定。
- ・校名案は1案に選定後、公表準備を行う予定。

4 今後の会議体の進め方について

- ・統合に向けて学校運営に関わる事項を検討していくため、年内に統合準備委員会を設置予定。

【意見交換内容】

- ・公募を通じて「平仮名を使う」、「花というワードを使う」など、色々な考え方があること知り、自身の考えが変わってきた。
- ・公募で集まった皆の意見を見て、良い意見が数多くあり感心している。両校の関係者共に、子ども達にとって何が良いのかを考えていることがわかった。
- ・困ったら原点に戻るというのも一つである。「名は体を表す」と言うように、校名は大事だと感じる。平仮名を使った優しい感じも良いと思う。
- ・鹿骨地域の歴史を重視したいという地域の声を大事にしたい。「鹿骨にある学校だから」「改築場所は松本小敷地だから校名は『鹿骨』が良い」といった意見を多く聞く。一方で、今回皆さんの意見を聞いて、様々な考え方があるということも感じている。
- ・中学生の子ども達が、校名の公募が実施されることを機に同級生と久々に集まり、校名について意見交換するなど、良い機会になっている。子ども達が胸を張って言えるような、前向きな理由を説明できるようにしていきたい。

- ・校名を考えるうえで3つの点を重視した。1つ目は新しさを表現すること。2つ目は鹿骨にも松本にも偏らないこと。3つ目は防災の観点、有事の際に場所がわかりやすいこと。区内には地域の名前以外の校名は無いのが現状だと聞いている。その伝統を覆すのは地域の方には馴染みが無いのではないか。また、『鹿骨』を残したいという強い意見を持っている方が多くいることは改めて感じた。ただ、過去の経緯・歴史ではなく、防災・有事の際のわかりやすさを得るという理由で、地域を連想させる名前は合理的であり、前向きな理由として捉えられる。
- ・地域の名前は重要であり、『鹿骨』は残すべきだという考えや、『松本』は分校だから鹿骨に戻すべきという意見があることは理解できる。しかし、松本小にも50年の歴史がある。『鹿骨』を残しつつも『松本』の要素も入れたい。両校の良いところ取り入れて考えていければ良い。
- ・『鹿骨』という響きは残すべきだと考える。『鹿骨』と言う地名であることを踏まえた校名にしたい。
- ・松本小の卒業生のことを考えると『松本』の名前は残したい。ただし、地域は『鹿骨』だということも大切にしたい。皆の想いを考えると校名を選ぶことは非常に難しいと改めて感じた。
- ・子ども達のものと思われる意見の中で、『鹿骨』『松本』の両校の名前を残したい」という内容が多かった。この意見を踏まえて、新しい名前も含めて考えていければ良いと思う。
- ・校名に『花』の文字が入ったものがあり、花のイメージを持っている子どもがいることがわかった。両校のことを想った意見が多く、子どもに向けて行った歴史の授業は効果があったと感じる。統合しても子どもたちは仲良くやってくれるのではと思った。それを象徴出来るような校名に決まれば良いと思う。
- ・地名だけにこだわること、どちらかの学校の名前だけが残ることを避け、『鹿骨〇〇』など両校合わせた形での名前を選びたい。また、歴史にも触れている意見があり、広い視野で考えていかなければと気づかされた。
- ・公募結果を分析し、3つのグループに分類し考えてみた。「各校の名前が1文字ずつ入ったもの」、「各校の2文字を含むもの」、「『鹿骨』が入っているもの」である。ここで『鹿骨』と書いた方は『鹿骨小』ではなく、地域、農の風景、シンボルとしての『鹿骨』を大事にしたいのではないか。さらに、有事の際に皆が集まる場所として、防災という観点でも『鹿骨』は残す意味がある。
- ・地名とそこにつながる言葉、両校の良さ、地域の良さが表現できるような名前が望ましいと思う。『鹿骨〇〇』が望ましいのではと考えている。
- ・校名案を選定するにあたっては、全ての人の想いを汲んで決めていければと思う。最後に校名が決まった後に、子ども達に「大人が両校のこと、皆のことを考えて決めた」と言えるように、両校の想いがこもった名前を選んでいきたい。

- ・地域の想い、地域あつての学校、防災拠点としての学校という考え方も理解できる。しかし、それはあくまでも大人目線での考え方だと感じており、やはり子どものことを一番に考えなければいけない。それぞれの学校の想い、子ども達の声を汲んだ、統合にふさわしい名前にしなければいけないと考えている。
- ・鹿骨、松本という地名がどこにあるかと考えると、明確に地名を入れることを考えても良いと思う。昔からある地名を大事にするという視点で考えた際に、省略して『鹿松』とするのではなく、『鹿骨松本』のほうがわかりやすい。
- ・どちらかの学校に偏る意見は無くすべきかと感じている。それを踏まえると、『鹿骨』単体だけでなく、『鹿骨』にプラスして何か言葉が付いている校名が良いのではないか。
- ・『鹿骨〇〇』が良い。『まつば』『松の木』など、松本小を連想できるワードを合わせてはどうか。校名案の想い見ると「両校の良い所を残そう」「両校の名前を大切にしよう」という意見が多かったため、それを大事にしたい。
- ・『鹿骨まつば』は残したい。
- ・漢字が4文字だと固いイメージになるから、平仮名を交えた『鹿骨まつもと』も候補に残したい。
- ・『鹿松』『松鹿』について書かれた想いを見ると、両校のこれからの考えた子ども達の気持ちがたくさん書かれているため、候補に残すべき。
- ・『鹿松』で良いのではないか。読み方は「ししまつ」が良いと思う。
- ・『鹿骨』は候補には残したい。地域がわかりやすい校名を考えると漢字が良い。
- ・子ども達に「大人達がこうやって選んだ」という理由をきちんと説明できるようにしたい。新しい学校として良いスタートを切れるように名前の意味はしっかりと考える必要がある。単純に片方の学校の名前になったと思われないようにしたい。
- ・これまでの意見交換をまとめると、教育委員会に提示する案としては、『鹿松（ししまつ）』、『鹿骨』、『松本』、『鹿骨松本』、『鹿骨まつもと』、『鹿骨まつば』の6案となるが、これで決定して良いか。
(事務局) ⇒反対意見なし。
- ・本日の合同会議で最終候補案として6案選定いただいたことを受け、今後、教育委員会で最終案の選定を行う。(事務局)

以上